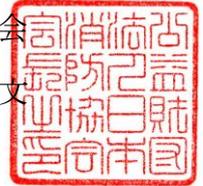


日消協発 146 号

平成29年3月22日

都道府県消防協会長
消防関係団体代表者 殿

公益財団法人 日本消防協会
会 長 秋 本 敏 文



平成29年度消防団幹部等海外消防事情調査参加者の推薦について（依頼）

春寒の候、貴職におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
当協会の事業運営につきましては、平素から格別なるご支援、ご協力を賜り厚くお
礼申し上げます。

さて、当協会では消防団幹部の皆様が、海外の消防制度・消防活動の実態を調査
することにより、各国消防との相互理解と交流を深め、消防の発展に寄与されるこ
とを目的として、海外消防事情調査を実施しており、今年度は別添のとおり実施い
たします。つきましては、貴協会管内の消防関係機関に通知していただくとともに、
参加者のご推薦を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年度消防団幹部等海外消防事情調査の実施について

1 目的

海外の消防に関する制度、消防活動の実態を調査するとともに、各国消防の相互理解と交流を深めることにより、海外の消防に関する見聞を広め、我が国消防の発展に寄与することを目的とする。

2 調査期間

平成29年7月10日（月）～平成29年7月18日（火） 7泊9日

3 調査地

羽田 → ミュンヘン（1泊） → フィラッハ（2泊） → ウィーン（2泊）
→ ストックホルム（2泊） → 羽田

4 調査経費

438,730円（全行程、朝昼夕食付き 燃油サーチャージ等諸税込）

※ 海外旅行保険加入希望の方は、取扱旅行業者にご相談ください。

5 参加者資格

消防団員及び消防職員、各都道府県消防協会役職員、消防関係団体役職員で健康な方（退職者可）。

6 申込み方法

別添「消防団幹部等海外消防事情調査参加申込書」に必要事項を記入のうえ、写真（4.5cm×3.5cm）を貼付け、予備の写真1枚とパスポートのコピーを同封してください。

7 申込み期限

参加申込書は、各都道府県消防協会できりまとめ、平成29年5月31日（水）までに、日本消防協会国際部宛に送付してください。参加者がいない場合でもメールまたは電話にて回答をお願いいたします。

8 経費の支払い

参加申込書が提出されますと、取扱旅行業者より請求書が送付されますので、指定された期日までに振り込んでください。

9 宿泊・日本国内航空券の斡旋

羽田前泊 一人部屋1泊8,100円（税、朝食、サービス料込み）

日本国内航空運賃（往復）

伊丹・中部・福岡・札幌等幹線空港／羽田往復10,000円

斡旋を希望された方には、取扱旅行業者より連絡があります。

10 キャンセルの場合の取消料
出発日の35日前から3日前まで 旅行費用の20%
当日 旅行費用の全額

11 その他

- (1) 調査行程等については、別紙を参照してください。
- (2) 特別な事情により調査行程等に変更がある場合は、別途お知らせいたします。
- (3) 健康の優れない方は事前に医師にご相談のうえ、お申し込みください。

12 取扱旅行者

ベストワールド株式会社
担当者 政次・鈴木・森

〒101-0047
東京都千代田区内神田1-7-4
TEL 03-3295-4111
FAX 03-3295-4118

13 問い合わせ先

公益財団法人 日本消防協会
国際部 福地

TEL 03-3503-3054
FAX 03-3503-1480
E-mail: fukuchi@nissho.or.jp

※ 申込書及び行程に関する情報については、日本消防協会のホームページ
(<http://www.nissho.jp>) にも掲載します。

平成 29 年度消防団幹部等海外消防視察日程

日数	月 日 (曜日)	都市名	現地時間	交通機関	摘 要
1	平成 29 年 7 月 10 日 (月)	羽 田 発 ミュンヘン着	10 : 30 12 : 30 17 : 20	N H 2 1 7 バ ス	羽田空港集合 空路、ミュンヘンへ 空港到着後、宿泊先へ移動 〔ミュンヘン/Sheraton West Park 泊〕
2	7 月 11 日 (火)	ミュンヘン発 フィラッハ着	午 前 夕 方	バ ス	宿泊先からフィラッハへ移動 途中 世界遺産 ザルツブルク視察 ミラベル宮殿、ホーエンザルツブルグ城、 広場、大聖堂など 〔フィラッハ/Holiday Inn Villach 泊〕
3	7 月 12 日 (水)		午 前 午 後	バ ス	フィラッハ市内視察 聖ニコライ教会・ハウプト広場・ランツコ ルン城跡など フィラッハ消防視察 (18 : 30 消防オリンピック開会式) 〔フィラッハ/Holiday Inn Villach 泊〕
4	7 月 13 日 (木)	フィラッハ発 ウィーン着	午 前 午 後 夕 方	バ ス	青少年消防オリンピック応援 フィラッハからウィーンに移動 オーストリア第 2 の都市グラーツで休憩 〔ウィーン/Park Royal Palace Vienna 泊〕
5	7 月 14 日 (金)		午 前 午 後	バ ス	ウィーン消防視察 ウィーン市内視察 シュテファン大聖堂、ウィーン市庁舎、 中央墓地など 〔ウィーン/Park Royal Palace Vienna 泊〕
6	7 月 15 日 (土)	ウ ィ ー ン 発 ストックホルム着	12 : 50 15 : 15	バ ス 0 S 3 1 3	ウィーン市内視察 (10 : 00 まで) 空路、ストックホルムへ 〔ストックホルム/Clarion 泊〕
7	7 月 16 日 (日)	ストックホルム	終 日	バ ス	ストックホルム市内の常備消防署視察 パートタイム消防署視察 地下 50m シェルター機能を持つ地下鉄駅の 視察等 ストックホルム市内視察 〔ストックホルム/Clarion 泊〕
8	7 月 17 日 (月)	ストックホルム ストックホルム発 フランクフルト着 フランクフルト発	13 : 30 16 : 35 18 : 35 20 : 45	バ ス L H 8 0 4 N H 2 2 4	ストックホルム市内視察 ノーベル賞授賞式で会場になるストック ホルム市庁舎・大広場・大聖堂等 空路、羽田へ 〔機内泊〕
9	7 月 18 日 (火)	羽 田 着	14 : 55		到着後、解散 (地方の方は乗継便へ)

NH : 全日空 LH : ルフトハンザドイツ航空 OS : オーストリア航空

おすすめポイント

- ♪ 安心・便利の全日空便を使用。羽田発着！
早朝便・深夜便は一切ありません。
地方の方も場合によって前・後泊をせずに参加可能。
(詳細は、担当旅行会社と確認する必要があります。)

- ♪ 充実した消防事情調査
オーストリアでは、フィラッハ、ウィーンの消防視察のほか、ヨーロッパ各国代表が参加する青少年消防オリンピックに参加する日本選手団を応援！

スウェーデンでは、常備消防や義勇消防の実情を調査するとともに、地下50mにシェルター機能を持つ地下鉄駅の視察を予定！

- ♪ オーストリアでは、美しき閑静な町ーフィラッハ、モーツァルトが生まれた音楽の町ーザルツブルグ、ムーア川の流れて沿って広がり渋い色調のレンガ屋根に統一されたセピアの街ーグラーツ、ハプスブルク家の帝都として繁栄した中央文化の中心であるウィーンの歴史地区など数多くの世界遺産の地を訪れます！

- ♪ 古くから北欧の首都を自認し、政治や経済、文化活動の中心地となってきたスウェーデンの首都であるストックホルムを訪問。ノーベル賞授賞式・晩餐会で会場になるストックホルム市庁舎や大広場・大聖堂等も見学！

- ♪ 参加者の方々の体調、要望により、日本食、中華などを取り入れます！

- ♪ 添乗員が日本から炊飯器、米等を持参し、途中おにぎり提供のサービスあり！

- ♪ 全行程にガイドや通訳の説明が行き渡るよう一人一人に通訳レシーバー（イヤホンガイド）をお渡しいたします！

■ザルツブルグ 【世界遺産】

「塩の城」という意味の名をもつこの街は、周囲の岩塩鉱から産出される塩の取引で繁栄を続けてきた。

西暦 700 年頃、聖ルペントがザンクト・ペーター協会を設立し、798 年には大司教区に昇格、大司教が領主を兼ねて統治した協会国家の時代は約 1000 年にも及び、壮麗な教会や宮殿が立ち並ぶ都市に発展した。

また、ザルツブルグはモーツァルトが生まれた音楽の都としても知られ、中世からの街並みがとても美しく、郊外の美しいアルプスの山々や湖は、映画「サウンド・オブ・ミュージック」の舞台にもなっている。

旧市街と歴史的建造物は、1996 年ユネスコ世界遺産に「ザルツブルク市街の歴史地区」として登録された。



■フィラッハ

ドナウ川の支流である、ドラウ川（Drau）に沿った交通の要衝で、イタリアやスロベニアの国境に近く、オーストリアのほぼ南西端に位置している。

ペスト塔のあるハウプト広場周辺が街の中心で、商店やホテルが連なっている。広場の西側に聖ヤコブ教会、広場の東側に市庁舎が建っており、その近くにある街の歴史や美術品を展示するフィラッハ博物館などが観光スポットである。



■ウィーン 【世界遺産】

中世から20世紀初頭までハプスブルク家の帝都であったウィーン。そこには音楽、絵画、建築、文学など、ヨーロッパの文化が凝縮されている。モーツァルト、ヨハン・シュトラウスら多くの音楽家を育て、クリムトやシーレらの新しい芸術が開花した。

13世紀にハプスブルク家がこの街を都と定めてから隆盛を極め、19世紀に皇帝フランツ・ヨーゼフ1世が帝都を大改造。

市街を囲む城壁を取り壊し、幅58m、一周約5kmの環状道路「リンク・シュトラッセ」を設け、通り沿いにオペラ座やギリシャ神殿風の国会議事堂を建設するなど、ウィーンの街に一層の彩りを加えていった。

リンクの内側、ウィーン歴史地区は世界遺産にも登録され、主な見どころが集まっている。また、世界遺産のシェンブルン宮殿や、オーストリアバロック建築の代表格ベルベデーレ宮殿も必見。



■ストックホルム

スウェーデンの首都であるストックホルムは、スカンジナビア諸国で最多の人口を誇る都市。古くから北欧の首都を自認し、政治や経済、文化活動の中心地となってきた。

街の始まりは、1252年に摂政ビリエールが、スタッツホルメン島に城砦を築いたこと。それはまるで湖やバルト海の出入口の関所のように、軍事的にも海運業などの経済的にも重要な位置を占めていたという。

14の島からなるこの街は、市の面積の13%を水面が占め市の中心部にもリッダー湾や運河をはじめとする水部が入り組んでおり、水の上に浮いているような都市景観をもつ。

世界の人々に愛されるこの美しい光景、街並みは「北欧のヴェネチア」と称えられるほど。風情ある石畳の旧市街地ガムラスタンも必見。

